




事業番号	03 06 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検 <input checked="" type="checkbox"/>			
事業名	未利用県有地有効活用費	部局	総務部	課・室	財産活用課
		実施期間	H11～	E-mail	zaikatsu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	<b>【現 状】</b> 大規模物件の減少及び立地条件が良くない物件の増加、並びに経済情勢の変化により、売却を取り巻く状況は年々厳しさを増しているが、建物解体工事などを実施し、売却推進に努めている。									
	<b>【目指す姿】</b> ファシリティマネジメント基本計画に掲げる総量縮小の方針に基づき、今後利用見込みのない土地について民間等への売却を進め、県有財産の有効活用及び歳入の確保を図る。									
<b>【実施内容】</b> 未利用県有地の売却に係る測量等委託、不動産鑑定、建物解体工事などを実施										
指標及びその達成状況 [ ↑ : 改善、 ↓ : 悪化、 → : 変化なし ]										
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コス ト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
								前年度繰越	0	0
1	未利用県有地売却額 (千円)	208,713	290,939↑	697,489↑	256,062	達成		現計予算	44,673	62,990
2								合計(A)	44,673	62,990
3								うち一般財源	34,673	49,990
4								決算額(B)	44,522	54,302
							職員数(人)	3.0	3.0	
成果指標設定理由	未利用県有地の売却による歳入確保を図るという観点から、当該売却額を成果指標とし、過去の平均売却率を参考に目標値を設定した。									
達成状況の分析	一般競争入札において最低売却価格を大幅に上回る入札結果となった物件もあり、当初想定していた目標額を超える成果を挙げる事ができた。									

主な取組	<b>✓ 未利用県有地の売却実績（R1年度）</b> (件・千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般競争入札</th> <th>インターネット</th> <th>随意契約</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>売却額</td> <td>634,664</td> <td>5,786</td> <td>57,039</td> <td>697,489</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>主な売却物件 湖山荘(諏訪市):307,800千円、郷田宿舎(岡谷市):110,110千円 (参考) (件)           <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売却件数</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>		一般競争入札	インターネット	随意契約	計	件数	12	2	8	22	売却額	634,664	5,786	57,039	697,489		H29	H30	R1	売却件数	23	31	22	 <p>売却物件（湖山荘）</p>
		一般競争入札	インターネット	随意契約	計																				
件数	12	2	8	22																					
売却額	634,664	5,786	57,039	697,489																					
	H29	H30	R1																						
売却件数	23	31	22																						
<b>✓ 未利用県有地の売却促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>売却物件の広報（新聞広告、銀座NAGANO、楽園信州空き家バンク等）</li> <li>境界未確定地における法務局の筆界特定制度を活用</li> <li>郵送入札を導入して購入希望者の利便性を向上</li> </ul>	  <p>売却中物件の状況 民間委託による効率化</p>																								

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	境界未確定、無道路地、土砂災害特別警戒区域内などの売却困難物件が増加している。	未利用県有地の売却を推進するため、引き続き、測量・地積更正・分筆登記・現地説明等の民間委託を活用し、売却事務の効率化を図りながら事業を実施する。 また、困難物件のうち売却の可能性のある物件については、隣接者等と継続的な売却へ向けた交渉などを進めるとともに、売却が不可能な物件については、適正管理に努める。

事業番号 03 06 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	未利用県有地有効活用費	部局	総務部	課・室	財産活用課
-----	-------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	未利用県有地有効活用費	44,522 千円	54,302 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	不動産鑑定、広告掲載、建物解体工事、一般競争入札等の実施	直接	入札に係る不動産鑑定の実施、売却物件広報の広告掲載、未利用地の建物の解体工事の実施 【実施総額 32,346千円】 (不動産鑑定：41件、新聞広告：5件、解体工事：2件)
2	用地測量、現地説明の民間委託による事業の効率化	委託	用地測量、現地説明の民間委託の実施 【実施総額 21,956千円】 (測量：41件、現地説明：10件)